

縮尺:1/250

調査位置平面図

ボーリング柱状図

調

査

名

(仮称)相原子どもセンター新築工事に伴う地盤調査委託 ボーリングNo. 事業・工事名 シートNo. ボーリング名 No 1 調査位置 東京都町田市相原町2025-2 北 緯 発 注 機 関 町田市役所 調査期間 平成 18年 9月 1日 ~ 18年 9月 2日 東 経 北0° 地 方 孔口標高 水平 0° 地盤勾配 152.33m Ŀ 270° 90° ____90° / 東 西 総掘進長 下 21.39m 度 南 標 標 層 深 柱 色相相 標準質入試験 1-記 原位置試験試料採取 室 掘 内 水 深 10cmごとの 試 験 名 深 試採 試 質 位 対対 進 値 打擊回数 Ν および結果 験 [I] (m) 尺 厘 状 膚 度 数 料取 0 10 20 度 度 密稠 X 測 月 質入 番 方 定 7 月 型 (m)(m)(m)(m) 义 調度度 事 分 (m) 10 20 30 (cm) (m) 号 法 (m) \exists 黒ボク主体 黒ボク主体 含水や多位 含水中位 出性中位 スコリア有する 含水中位 かい スコリア少量有する 耕作土 黑褐 151.83 151.53 0.30 0.80 ||黒ボク 1 1 1.15 30 3 150.73 0.80 1.45 孔内水平栽荷試験 有機質 暗茶 1/9 2.00 2.15 32 3 12 11 2.47 1 1 1 3.15 30 非 常 4.15 30 18 | 12 軟 4.45 ら 含水中位~やや多位 か 粘性やや強位 い 軟質なロームからなり、スコリ ア、浮石有する 5.15 1...7 茶 18 13 31 裮 5.46 2 3 35 6.15 軟 3 15 11 ら 6.50 かゝ 7.15 21 11 32 8.15 17 13 30 2 d 8.45 礫径φ80mm~120mmくらいの玉石 を採取する 玉石 茶灰 2 2 2 6 9.15 30 9.45 緩 茶~褐暗褐 灰暗~茶 含水多位 粒子均一な物 シルト分帯びる 色調は不規則にて11.00m付近、 礫点在する 10 7 ル 7 19 10.15 ŀ١ 1 30 19 10.45 U 密 11.15 7 10 16 11 33 細 な 30 33 砂 11.45 140.38 3.15 11.95 12 含水やや多位 マトリックスは細砂 φ2mm~30mm位の亜円礫、亜角礫 主体とする 10 11 17 38 12.15 茶褐 密 30 12.45 12.90 礫 次 0.95 13 8 10 25 13.15 30 Œ 13.45 13 13 17 43 14.15 30 43 14.45 15.15 14 15 18 47 15 30 47 15.45 r[:) 茶 16.15 14 16 20 16 50 灰 含水中位~多位 粒子均一な物 色調は不規則にて、所々礫点在 する 20.00m付近、礫の点在量多くな る 5 9 29 7 16.44 61 19 21 10 50 []音 17 緑灰~ 非常に密な 15 20 15 5 50 25 18 茶褐 18 18 7 50 27 1919.15 8.49 21.30 20 21

ボーリング柱状図

査 名 (仮称)相原子どもセンター新築工事に伴う地盤調査委託 ボーリングNo. 事業・工事名 シート№. ボーリング名 調査位置 $N \circ 2$ 東京都町田市相原町2025-2 北 緯 発 注 機 関 |調査期間||平成 18年 9月 4日 ~ 18年 9月 5日|東 町田市役所 経 ||=180 北10° 孔口標高 鉛水平 0° 直 盤勾 152.53m 上 270° 90° ______90° 西 東 総掘進長 21.44m 南 孔 標 標 層 色相相 原位置試験試料採取室 深 柱 上 記 標準質入試験 内 水 深 10cmごとの 試 験 深試採 試 位 質 対対 進 打撃回数 回 値 および結果 験 (m) 厚 尺 悄 度 状 数 料取 0 10 20 度 度 度 密稠 X 測 月 質入 番方 定 > > 月 童 (m) (n_1) (m)(m)义 調度度 (m) 10 20 30 (cin) 分 事 (m) 号 法 (m)日 黒ボク主体 黒ボク王体 均質な物 軟ら含水中位 かい全体にスコリア多位 含水中位 戦ら粘性中位 かいスコリア、浮石少量混入する 有機物少量混入する 排作上 黑褐 152.13 0.40 0.40 $\frac{3}{30}$ 黒ボク 黒褐 1/11 1.15 151.18 0.95 1.35 3 9 1.45 孔内水平載荷試験 2.00 0.80 2.15 150.384 35 2.15 3 12 8 15 2.50 D-1 D 常 3.30 軟 含水やや多位 粘性中位 浮石、スコリア有する 2.00m乱れている 4.00m付近より軟質となる $\frac{2}{32}$ 4.15 5 18 14 1.7 2 0 茶 カゝ 4.47 掲 4 5.15 5.45 30 2 軟 6.15 $\frac{2}{40}$ 6.55 28 12 2 0 砂礫【褐灰】 掘削音、回収スライムにて確認 4 6 7 17 7.15 30 17 7.45 ル 含水中位 粒子均一な物 シルト分全体に帯びる 6 7 8 21 褐 8.15 30 21 質 灰 8.45 4 10.80 が 解視じ 7 密 9 10 12 31 9.15 な 30 31 9.45 含水やや多位 粒子均一な物 φ2mm~30mm位の亜円礫、亜角礫 を点在する S 密 10.15 10 12 14 37 灰 な 30 37 10.45 141.7310 11 30 11.15 30 30 11.45 12.15 10 10 13 33 12 30 33 12.45 11 11 14 36 13.15 30 36 13.45 12 14 18 44 14 14.15 30 44 14.45 褐 ぐら 13 | 16 | 19 15 灰 15.15 含水やや多位 粒子均一な物 30 48 15.45 \ \ \ 紮 若干のシルト分を有する 13 18 19 50 8 28 54 細 φ 2mm~30mm位の亜円礫、亜角礫 を点在する 19.00m以深、礫点在量が増える 20.50mは近、礫々い 16 16.15 褶 非 砂 灰 16.43 常 17.15 14 18 18 50 20.50m付近、礫多い 7 27 56 裀 18.15 11 17 22 50 30 50 18 12 18 20 50 8 28 54 19 13 19 18 50 8 28 54 10.64 21.44

20.15 20.43

21.15

21.44

13 18 19 50 9 29 52

20

21

131.09